

## 第11回 川崎中原ライオンズクラブ杯争奪 選抜少年サッカー大会 報告

## 大会の概要

昨年は震災の影響で大会が中止となり、2年ぶりの開催であった。

開催日 2012年4月7日(土)  
会場 丸子橋多目的広場第一グラウンド(東急東横線:新丸子駅下車徒歩10分)  
主催 川崎市 中原区少年サッカー連盟  
後援 川崎中原ライオンズクラブ、川崎市

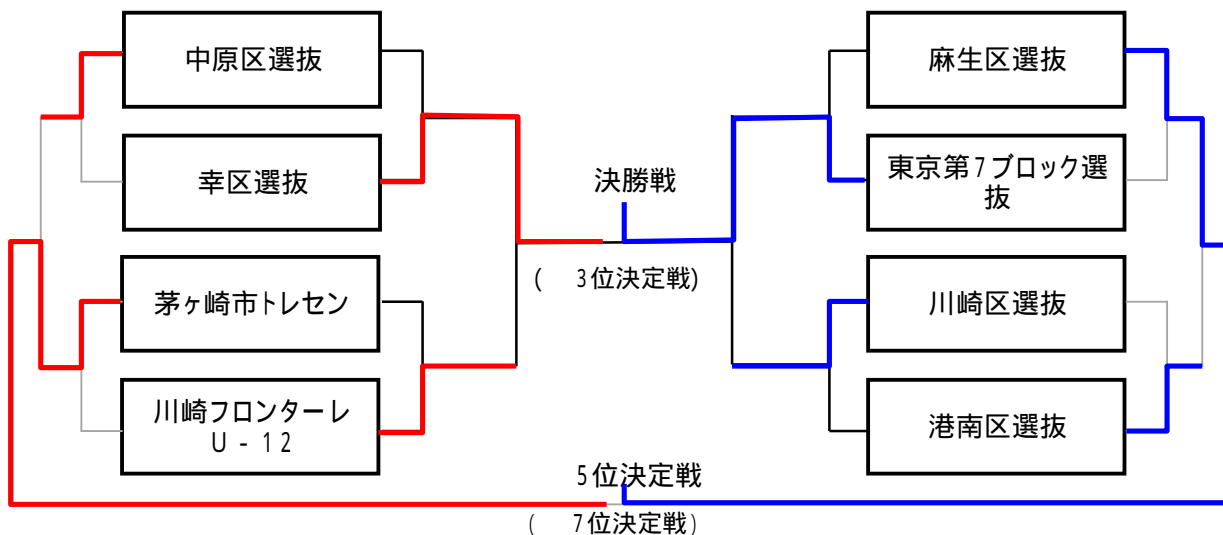
参加チーム 中原区選抜 港南区選抜  
幸区選抜 麻生区選抜  
川崎区選抜 東京第7ブロック選抜  
茅ヶ崎市トレセン 川崎フロンターレU-12

試合方式 前後半選手の全入れ替え方式により、8人制のトーナメント方式  
(決勝・3決は11人制)

試合時間 40分ゲーム(20 - 5 - 20)

## 試合の様子

対戦カード



朝は穏やかに晴れ渡った青空のもとでの大会と思わせたが、徐々に冷たい風が強くなり空もどんより曇り空となってしまった。

グラウンドは、砂地のグラウンドで茅ヶ崎の選手はあまり経験をしたことのない柔らかいグラウンドだった。

## 第1試合 茅ヶ崎トレセン 1 - 2 川崎フロンターレU - 12

初戦から全国レベルの強豪チームである川崎フロンターレU - 12との対戦となった。

茅ヶ崎の選手達は、開始から全力で相手に立ち向かい前半5分ごろ先制点を奪うが

個人技とスピードでかき回され徐々に試合はフロンターレのペースとなり前半終了間に同点にされてしまった。後半、茅ヶ崎は中盤でボールを奪うが前線にパスが中々繋がらず得点に結びつきそうな攻撃が少なく追加点を取ることが出来なかった。

フロンターレは前半同様に個人技とスピード+組織で攻められ守りきれず追加点を許してしまった。

## 第3試合 茅ヶ崎トレセン 3 - 2 中原選抜

前半は互いに点を奪い合う展開となり、2 - 2で前半終了。

後半は逆に互いに攻撃を仕掛けるが得点には中々至らず、硬直状態が続く。

試合終了が近づいたころ茅ヶ崎の攻撃中に相手ファールによるPKを奪取し、キッチリとPKを決め勝利を得ることができた。

## 第5試合 茅ヶ崎トレセン 0 - 3 麻生選抜

フロンターレ戦、中原選抜戦の疲れからか、選手たちの足が止り、相手やボールへのアプローチが遅くなり

前後半を通して中盤や最終ラインで簡単に抜かれる場面が多くなり、守りきれず相手に得点を重ねさせてしまった。

後半は何とかゴールを決めようと相手陣営深くまでボールを運び、シュートも放つがゴールを揺らすことが出来なかった

結果、茅ヶ崎トレセンは総合6位の結果であった。

### 総括(感想)

南足柄選抜大会の内容が良かったので今大会もそのままの勢いを期待していたが、横須賀選抜 & マリノス追浜との練習試合の時と同様にONとOFFの切り替え、選手間の関係性等など8人制の戦い方が不慣れであると感じた。  
また、慣れないグラウンドコンディションもあるかも知れないが体力面においても課題の残る内容であった。

普段は中々対戦することの出来ない川崎地区の選抜チームや強豪川崎フロンターレとの試合の中で茅ヶ崎の今回参加した選手一人ひとりが何が通用するか、何が通用しないか、自分に何が足りないのかを感じとり、今後の練習や試合に活かしてほしいと思う。